

ふれあいの発進



スタッフがお餅をつき、中山さんに臼取りをお願いしました。まだまだ晩は落ちていませぬ。



なんぐん地域ケア 研究会大会報告

去る十二月十六日、なんぐん館職員をはじめ、約二百名が参加し、二題の特別講演を聴いた。

まず、N T T 関東病院の稲川利光先生のお話。先生は理学療法士の資格もあるユニークな経歴の持ち主。涙あり笑いありの話し方で、多くのエピソードを紹介し、観衆を魅了した。リハビリだけでなく、心の通う講演だった。笑顔ひとつ、声かけひとつで利用者に喜んで頂ける、またそれが、自分自身に癒し・元気として還って来るという。介護担当者に大きな希望・目標を与えて頂いたと理解できる。

次に愛媛大学教授・谷向知先生から認知症についての講演があった。例えば物忘れでも病識があれば大丈夫という常識はウソである。認知症の一つで人格変化を起こすピック病の徘徊は、アルツハイマー病のそれとは異なり、周遊なので見守りは不要だ。などと知識だけでなく対応法も教えて頂いた。

共に非常に役立つ素晴らしい講演であった。

濱口 隆司



なんぐん館 部署紹介 事務所



なんぐん館正面玄関から右に入ると、事務所があります。今回は、事務所に拠点を置く職員の紹介です。事務長はじめ事務部、療養部、支援相談部3部署の部門長と支援相談員、ケアマネジャー、栄養士、事務員、そしてお隣の部屋にリハビリスタッフ5人の総勢15名。様々な職種が共生しているだけに、毎日いろいろな問題に対応し、利用者様の支援を行っています。最近では、職員家族の嘔吐下痢やインフルエンザ発症のため、全員揃うことが遠のいていましたが、写真ににじみ出ているように皆明るく、言いたいことはバンバン言い合える仲間です(もしかして一部?)。

なんぐん館の運営面で、入所率アップや人件費削減など課題も抱えていますが・・・そうばかりも言ってもらえない状況に、しっかり向き合い、安心して施設利用ができるよう支援させていただきたいと思っています。今年もよろしくお願ひいたします。

行事

- 2月 節分
- 3月 雛祭り



「一年の計は元旦にあり」
今ではあまり聞かれない言葉ですが、このような年が改まるという区切りを大切に、一年を振り返りながら、新年の計画を立ててみてはどうでしょうか。
そういつている間に大寒も過ぎましたが、本当の寒さが観測されるのは一月末ごろから2月のはじめごろと言われています。
もうすぐ春です。寒さに負けず乗り切りましょう。



編集後記

社団法人 南宇和郡医師会
老人保健施設
なんぐん館
南宇和郡愛南町御荘深泥703-2
TEL. (0895) 73-1021
発行責任者 施設長 兼吉 章

お魚寄贈



愛南漁協魚類養殖協議会より、お魚を寄贈していただきました。いただいた魚（鯛、ハマチ）は煮魚や魚の野菜あんかけに調理され、入所者の皆さんに召し上がっていただきました。



↑ こんなになりました♡

赤水小学校来館



赤水小学校の皆さんに、歌や踊りを披露していただきました。その後は、入所者の皆さん個人個人とのゲームで交流を深めていました。



体験学習

体験学習のため御荘中学校の訪問がありました。車椅子の清掃を熱心にしていただいたり、利用者さんとの関わりを持ったりしていただきました。



学校訪問

中浦中学校を訪問し、車椅子の操作方法等の指導をしてきました。車椅子操作は初めての生徒さんも積極的に実習に取り組んでいました。今後この経験を日々の生活の場面で活かしてあげたいと思います。



右手に麻痺のある方のベッドから車椅子への乗り移りについては

施設長挨拶



なんぐん館施設長 兼吉 章



皆様、明けましておめでとうございます。昨年夏の参議院選挙以来、我が国の政情は不安定になり、最近、益々ひどくなっています。この先、私共の生活は、どうなっていくのかと心配な毎日です。なんぐん地域は、景気の回復が遅れています上に、人口の高齢化は進んでいます。高齢者のお世話をできる若い人が、家族の中で減っていますので、施設介護は、益々重要になってきています。なんぐん館も開設以来十年、地域の皆様の御支持、御支援を得て、がんばってまいりました。これからも、職員一同助け合って、この施設を利用して下さる一人一人の方に、各人の要望にこたえ、理にかなった支援をさせていただきます。皆様よろしく申し上げます。

お餅つき



毎年、城辺小学校、愛南地区防犯協会より餅米を寄贈していただいています。今年も12月26日に入所者の皆さんとスタッフとお餅をつき、鏡餅やあんこ餅を作りました。つきたてのお餅は格別でした。

のもとさち子バレエスクール来館



1月12日に、のもとさち子バレエスクールの皆さんが来館されバレエを披露していただきました。小さなお子さんのかわいらしい演技と、小中学生の素晴らしい演技に利用者さんからは「かわいいねえ」「きれいやねえ」と感激の声があがっていました。